

各種出店費用を、約3割まで補助

最初に、制度の概要をご紹介します。
補助内容の詳細は、表1「どんな補助が受けられるの?」をらんくください。
大まかに言うと、まず出店のために必要な事業計画についての事前診断や、家賃補助が終了した時点での経営財務診断にかかる費用を補助する「経営財務診断費」、店舗改造に要する費用を補助する



特集1 / 中心市街地活性化
「空き店舗出店補助金」の活用で、
(中心商業地新規出店促進事業補助金)
中心商業地に活気を!



独立開業を支援。
あなたも夢の実現を
めざしましょう。

平成15年度から行われている「宇都宮商工会議所中心商業地新規出店促進事業補助金」(略称「空き店舗出店補助金」)事業は、市内中心商業地に新規出店すると、内装改造費や家賃などの補助を受ける事ができる制度です

業種については、

- 小売業
- 飲食業
- サービス業
- その他市長が適当と認める業



が対象となります。ただし飲食業の場合はランチ営業がある場合に限られます。
また、飲酒業は原則として対象外ですが、カクテル専門店であれば補助を受ける事ができます。オフィスや風俗業、遊戯業などは対象外となります。
要約すると、基本的には中心部の魅力アップにつながる業種が補助対象となります。

表1でもふれている「特例加算」は、次の2つの事業を対象としています。

① おもてなし事業

観光情報や周辺商店街情報の提供などを行う「おもてなしコーナー」の設置、「バリアフリー対応」、夜間照明など「夜間や閉店時の店舗演出」

② 大谷石活用事業

内装、外装のいずれかで大谷石を活用

② どんな補助が受けられるの?

対象経費	補助率	限度額
経営財務診断費	30%	1回につき1万円
内装改造費	30%	1「一般店舗」 天井・壁・床・塗装・サイン工事が対象
		2大谷石活用店舗 一般店舗対象工事費(天井・壁・床・塗装・サイン)ほか電気・給排水工事が対象 小宇都宮市中心市街地活性化基本計画に定める区域(約320ヘクタール)内に存する大谷石
	50%	3商店街等の定めたコンセプト(市長の認定を受けたもの)に合致する業種 一般店舗対象工事費(天井・壁・床・塗装・サイン)ほか電気・給排水工事が対象
家賃	30%	200万円
	40%	300万円
	50%	
特例加算	30%	1おもてなし事業 おもてなしコーナーの設置、バリアフリー仕様の店作り、夜間照明設備等の設置をした場合
		2大谷石活用事業 大谷石を活用した内外装工事をした場合

申請手続きはできるだけ簡素化
補助金申請というと、多くの方は「書類が面倒くさい」、審査が厳しい」と「2」の足を踏まれるのではないのでしょうか。もちろん「空き店舗出店補助金」も、ある程度の書類が必要ですが、一般的なイメージよりは、申請者の方々の負担をかなり軽減するものとなっています。
申請の際に必要なものは、申込書に加え、

① 店舗の賃貸契約関連書類
② 2年以上の営業継続宣誓書

③ 商店街や商工会議所などの協力関係についての書類
(例えば入金書類など)
④ 事業概要
(事前の経営財務診断書類の写し)

などです。他に特例加算に該当があれば関連の書類が必要ですが、一般的に「補助金申請」という言葉から連想されるものよりも、かなり少ないのではないのでしょうか? もちろん、業種や申請内容によってはその他に必要な書類もありますが、おおよそ

「内装改造費」、開店から6か月間の「家賃」、その他の「特例加算」に分類されます。
つまり、出店前の事前準備から開店準備、開店後の家賃補助まで、点ではなく線で補助を行う制度となっています。
あくまで「補助」ですので、かかった費用全額をもらえるわけではありません。表1にあるように、基本的には30%の補助率となっております。またそれぞれに上限金額

も設定されています。ただし、家賃についてはエリアによって最大50%の補助を受ける事ができます。
ちなみに、区域内での店舗移転の場合には、補助を受ける事はできません(2号店など新規出店であればOKです)。
エリアは、宇都宮市中心市街地活性化基本計画対象区域(約320ヘクタール)内の中心商業地域です。大通りや中央通り(シンボルロード)、ユニオン通り、オリ

オン通り、釜川沿い、城址公園周辺などが主な対象区域となります(記事末に記載したホームページに対象区域の地図が掲載されていますので、詳しく知りたい方はアクセスしてください)。
注意して欲しいのは、基本的には建物の1階もしくは2階に限られる事です(カクテル専門店1階は不可)。中心部活性化が目的の補助金ですので、基本的に路面店が中心となります。

ね前記の範囲におさまってしまいます。
申請前には、担当者がいねいに対応します。通常の出店準備をされている方であれば、ほぼストレス無く、書類の準備ができると思います。
その後、審査委員会で承認、受給資格認定書を交付された段階で、補助の要件である「経営財務診断費用」および「内装改造費用」などの請求書類を提出していただきますが、これらほとんどは見積書・請求書・領収書や市税完納証明書、費用内訳など、実際に診断を受けたら改

中心商業地新規出店促進事業補助金対象エリア





cafe
SAVOIA s-21
カフェ サヴォイア s-21
〒321-0966
宇都宮市今井2-6-5
営業時間
午前11時から午後6時
定休日 / 月曜日
☎028-666-7860

平成22年度の宇都宮市まちなみ景観賞を受賞した、大谷石蔵を改造したおしゃれな外観のカフェ「サヴォイアs-21」。店名の由来はアニメーション映画に出てくる飛行機だそうです。平成21年に、空き店舗活用補助金を活用して開業。街中の顔の場として愛されています。

01 開業と制度を知ったきっかけは、

「カフェの経営は長年の夢で、開業するにあたっては、以前から大谷石の蔵を活用したいと考えていました。現在の蔵でオープンする事ができ、とても満足しています。商工会議所でこうした制度があるという事は、開業前に出店場所や店舗情報を探している中で知り相談しました。特例加算の対象になるなど、資金面でも助かりました」

02 制度の使い勝手はいかがですか、

「申請やその後の書類作成などは、担当の方の丁寧なアドバイスもあり、特に苦労した面はなく、スムーズに手続きできました。使いやすい制度だと思います。ただ私どものようなカフェは、雰囲気作りのための備品や、什器などの設備投資も重要な要素ですので、そのような面での補助があると大変助かります。（注：現状では、おもてなし事業以外は、備品への補助は無し）」

03 今後の抱負をお願いします、

「集客方法をどのようにしていくかが今後の課題です。お客様一人ひとりが、お店の雰囲気を気に入って何度も足を運びたい。そんな素敵なお店に育てていけるよう日々努力していきたいです」



主人と二人三脚での独立開業、制度のおかげで訪かりました！
カフェ サヴォイア s-21
オーナー
高橋 信美



Nail Salon lucere ネイルサロン ルシェーレ
〒320-0027 宇都宮市橋田2-4-8 武田ビル1F(赤門通り)
営業時間 / 午前10時から午後7時
定休日 / 不定休(完全予約制)
☎028-622-5220

平成22年2月にオープンした、ネイルサロン「ルシェーレ」は、オーナー店長の高野美紀さんが1人で切り盛りしています。ネイリストとして、市内の店舗で約8年間勤務し、独立開業しました。今では若い女性を中心に、口コミで「ルシェーレ」ファンが広がっています。

01 開業の経緯を教えてください、

「お店のある赤門通りは、通勤などでよく通っていました。信号待ちの際に、空き店舗になっていることに気がつき、こういう場所を開業したいと思っていました。お隣りが美容室さんなので、立地的にもいいところだと思いました」

02 制度についてはどこで知りましたか、

「思い切って物件を決めた後に商工会議所のホームページを見て、相談に伺ったんです。開業は初めてですから不安もたくさんあり、いろいろな相談にも乗っていただきました。1人で経営するお店ですが、お客様に美しくなりたい場所ですから、内装なども工夫しました」

03 利用してみた感想は、

「お店の経営については、在籍していた店でいろいろ勉強してきましたが、自分で経営するとなるといろいろ大変で、書類なども苦労しました。担当の方に面倒をみていただいたので、助かりました。補助金は3か月単位で受け取るのですが、その度に作る実績報告書が、なれない間はなかなか大変だったと思います」

04 今後の抱負をお願いします、

「できるだけ多くのお客様にご満足いただき、美しくなるお手伝いをさせていただきたいです。できるだけリピーターになっていただけるよう、自分自身も技術などを向上させながら、サービスを続けていきたいですね」



8年の経験をもとに、独立開業を実現しました！
ネイルサロン ルシェーレ
オーナー
高野 美紀



MAGNET UTSUNOMIYA マグネット宇都宮
〒320-0035 宇都宮市信馬町3-24(ユニオン通り)
営業時間 / 午前11時から午後7時
定休日 / 水曜日
☎028-666-7504

群馬県に本社を持つ(株)マグネットは、衣料品やアクセサリなどを販売する、いわゆるセレクトショップ。この形態の店舗は、複数のブランドを扱うこと、スタッフのセンスによる商品構成などが特徴です。それだけに、立地にも気を配っています。同社は群馬県高崎市や同伊勢崎市など4店舗を展開し、宇都宮店は初の県外出店となります。

01 宇都宮に店舗を構えた経緯は？

「これまで群馬県内に展開してきましたが、狭いエリアでこれ以上増やしてもお客様の利便は良くないと思い、7~8年前から他県進出を考えていました。宇都宮にも何度もリサーチに来ていた中で、たまたま現在の場所に行き当たりました。このユニオン通りは、今はちょっと減りましたが、若者向けの衣料品店が多く軒を連ねていて、そういう環境にも惹かれましたね」

02 補助金はどこで知ったのですか、

「不動産屋さんが教えてくれました。よく面倒を見てくれる方で、制度についても詳しく調べてくれました。それと、オーナーさんもいい方で、開店まで半年くらい時間がかかったのですが、その間家賃などを免除していただきました」

03 利用手続きや、制度の感想は、

「他の都市に比べると、商工会議所の対応もていねいでしたし、制度自体も申請が楽だったり条件が緩やかだったり、良かったですね」

04 今後の抱負をお願いします、

「他県の都市に比べて、宇都宮はまだまだ元気、ビジネスチャンスがあります。せっかく縁で出店したから、地域の方々と一緒に盛り上げていきたいですね」



他の都市と比較して、宇都宮に決めました！
株式会社マグネット
代表取締役
取締役 澤史

Interview 制度を利用した人たちの声

造を行ったりすれば必ず出る書類ばかりです。また、3か月後・6か月後・1年後・2年後の営業実績報告書を提出していただきますが、これについても帳簿類を整えてあれば難しいことはありませんし、分からない事は担当者がご相談に乗りますので、ご安心ください。もちろん、申請後に審査がありますが、ご相談いただいた時点で細かく対応した上で申請書類を提出していただきます。

めに、当所としてもできるだけ「使いやすい」「効果が出やすい」運用を心がけています。また、2年以上の営業継続の意思がある方に限られますので、例えば数週間や数ヶ月の、イベント的な出店は対象外となります。当所ではこの事業を平成15年度から、宇都宮市の制定した「宇都宮市中心商業地出店等促進事業補助金」の補助金交付団体として運用しています。開始年度は180件の相談を受け、その

後数年間は80~90件で推移していましたが、平成21年度、22年度はいずれも100件を超えました。また受給資格認定件数はおおよそ30件以上で、昨年度は44件となつています。このように本制度は順調にご利用いただけていますが、中心部の空き店舗数は依然として許さない状況です。平成18年3月の時点で96店だった空き店舗数は、平成22年3月には122件に増えています。また1・2階店舗だけを見ると、36店舗から64店舗へ、倍近い数となっています。

このような状況で「空き店舗補助金」の意義は、さらに大きなものになっていくと思われまます。家賃補助期間が変更になるなど、今年度から制度内容の一部が変わりましたが、補助金手続や終了後の経営サポートなど幅広く支援していきます。まずは、お気軽にお問い合わせください。

問合せ

電話 028-637-3131